

2017 年度 A セメスター Intensive Japanese I (Group V) シラバス

曜日時限：火曜 2 限、金曜 1 限

教室：10 号館 204、201

対象：PEAK グループ V の学生（日本語母語もしくは準母語レベルの学生）のみ

科目種別・単位数：必修・A1 タームのみ 週 2 回で 2 単位

担当教員： 江頭 由美（えとう・ゆみ） *****@*****

松下 達彦（まつした・たつひこ）＝コーディネータ *****@*****

電話：03-*****-*****（研究室直通） または 内線 *****

研究室：*****

研究室での面談・アドバイスを希望する場合：事前にアポイントメントを取ることが望ましい。

（火曜～金曜の午後は研究室にいることが多いです。）



講義題目 (Subtitle)：日本語インテンシブ (Group V): 日本語の創作

授業の目標、概要 (Course Objectives/Overview)

本科目はグループVの学生（日本語母語もしくは準母語の学生）を対象とする。本科目の目的は、学生自身が、非学術分野に於いて使用する、洗練された創造的、文芸的表現を身に着けることである。

具体的には、学生と教員の所定の努力により、学期末までに以下の諸点が期待される。

- 1) より洗練された表現による日本語表現（手紙、広告、随筆、文芸作品など）の創作をすることができる。（例えば、気持ちのいい夏の朝を「素足でアスファルトの上を歩きたくなるような夏の朝」のように表現できるようになる。）
- 2) さまざまな表現を楽しみ、鑑賞し、自らも表現することの楽しさを味わい、もっと表現したいという気持ちになる。

授業のキーワード (Keywords)

上級日本語、レトリック、文芸的表現、鑑賞、創作

授業計画 (Schedule) ＊別添資料参照



授業の方法 (Teaching Methods)

俳句・短歌、詩・広告、手紙、人物描写、人物紹介、体験描写、随筆・エッセイ、ショートストーリーなどの鑑賞や創作活動を行い、討議・合評を行なう。

ポートフォリオを作成することも必須の課題である。ポートフォリオには、必須の課題である発表や文章表現の作品の代表的なプロダクト（成果物）を時系列の順番に納める。これは各自の学習の進歩や成果を振り返ること、また他者にわかりやすく示すことを目的に作成するものである。日本語科目では必須の課題を **Baseline** と呼び、任意の課題を **Extension** と呼ぶが、ポートフォリオにはその両方のプロダクトを入れることができる。 **Extension** では当該科目に関連する課題を自ら設定して取り組むことができるが、詳細は授業内で説明する。

A) 学生に要求されること

- ✚ 指定された文献を読んで授業に参加し、不明点を授業で確認すること

- ✚ 課題（口頭発表や提出物）に取り組み、提出し、クラスメートや教員からのフィードバックを批判的に受容すること
- ✚ 提出物の合評など、議論に積極的に参加すること

B) 担当教員の行なうこと

- 提示された授業時間において、クラスの運営を適切に管理し、ここに示した計画の通り授業を進めること。変更は、合理的かつ明確な理由を提示し、学生の了解を経た上で行うこと。
- 個々の学生のニーズとレディネス・学習環境に応じ、学習に関する適切なアドバイスや学習リソース提供を行うこと。
 - 事前に読むべき文献を提示すること。
 - 各トピックについて、簡単な講義やワークショップを行なうこと。
 - 必要に応じて作成例を含めた課題の模範を示すこと。
 - 議論の内容に適切なアドバイスやコメントを与えること。
 - 提出物をよりよい日本語表現になるように添削し、内容についてもコメントすること。
 - 目標の達成度を、適切な基準によって評価し、各学生にフィードバックすること。
 - 作品集を編集して学期末に配布すること。

授業目標を達成するためには、上記AとBについて、学生と教員が所定の努力をすることが必要である。

成績評価方法 (Method of Evaluation)

以下の諸点に基づき評価する。(Baselineは必須課題を、Extensionは任意課題を指す。各項目のより詳しい評価基準については別紙参照。)

1) クラス内での活動	10%	
2) 提出物 11件 (Baseline)	77%	
3) 発表 (「私の好きな表現」)	7%	
4) 任意課題 (Extension)	3%	
5) ポートフォリオ (Baseline + Extension)	3%	*振り返りと見やすさを評価する



*出席が70% (13回中10回) に満たない場合は自動的に F (不可=不合格) となる。30分未満の遅刻・早退は3回で欠席1回と計算される。30分以上の遅刻・早退は欠席とする。

*提出物は原則として提出期限を過ぎたら受け取らない。(理由があっても間に合わない場合は事前の相談により期限の延長が認められる場合がある。ただし、期限が延長された場合、同じ基準で評価することを保証しない。)

不正行為の禁止

試験におけるカンニング、提出課題における他者の著作の盗用などの不正行為は固く禁じられている。提出課題は必ず学生自身のオリジナルでなければならない。他者の著作を引用する場合は、引用の範囲または内容と、出典が明示されていなければならない。カンニングや盗用が証明された場合には、大学の規定により、当該学期のすべての科目の成績が自動的に「不可」(F)となる。

教科書・参考文献 (Textbook and Reference)

教科書は指定しない。その他の文献は必要に応じて授業内で指示する。

関連ホームページ (Course-Related Websites) 特にないが、必要に応じて授業内で指示する。情報提供歓迎。

学習上のアドバイス (Advice for Prospective Students)

芸術とは何か、科学とは何か、について考えよう。考えることや発想すること、表現することを楽しもう。日常生活の中で「あれっ」と思うような表現、引っ掛かりを感じるような表現に敏感になろう。

以上

Intensive Japanese I (Group V) スケジュール

2017年度 A1チーム

授業日	曜日・ 時限	教員	主なトピック	提出物	活動	参考
9月26日	火2	江頭	自己紹介、オリエンテーション 短詩型文学と日本語の世界(1): 講義			・江頭自作の俳句紹介 ・『日本をたどりなおす29の方法』(東京外国語大学出版会)の菅長、村尾両先生の文章をコピー。それぞれ古典和歌、現代俳句についての文章。 ・漫画で辿る俳句の歴史(NHK俳句テキスト2013年8月号 pp46-9 ・『短歌という爆弾』(徳村弘 小学館文庫) 麦わら帽子のへこみ pp140-150
9月29日	金1	松下	ポートフォリオの説明 レトリックとは何か、人物描写文(1): 講義	俳句または短歌の創作 「私の好きな俳句/短歌」(鑑賞文)	教室課題	ポートフォリオの説明・評価基準、 ポートフォリオのサンプル写真 (レトリックについての資料) 「風の街の少女」「いちげんさん」、先輩の作品
10月3日	火2	江頭	短詩型文学と日本語の世界(1): 合評 人物紹介文: 講義	人物描写文(1)	提出物合評	・丸谷才一『文章読本』より、漱石の子規追悼文 ・小谷野敦『友達がいなくていいこと』の「まえがき」(自己紹介) ・『100分de名著 石牟礼道子 苦海浄土』pp4-15
10月6日	金1	松下	人物描写文(2): 合評 体験描写文: 講義	人物紹介文	提出物合評	「赤い光」「人生を変えた五日間」
10月10日	火2	江頭	人物紹介文: 合評 手紙・メール: 講義	体験描写文	提出物合評	・依頼のEメール 『日本をたどりなおす29の方法』(東京外国語大学出版会)より ・「俳句は言葉で作る」(池田澄子) ← 師からの手紙についての文章。(NHK俳句2013年9月号)
10月13日	金1	松下	体験描写文: 合評 随筆・エッセイ: 講義 描写: ワークショップ	手紙・メール (依頼/恩師への近況報告)	提出物合評	「お金の価値」「気になる単語」 「たまり場の条件」 「グローバル人材は養成できるか」
10月17日	火2	江頭	手紙・メール: 合評 詩・広告: 講義	随筆・エッセイ	提出物合評	福田千尋さん、ユン・キヨンさんの作品 吉野弘「祝婚歌」宮沢賢治「雨ニモ負ケズ」 伊藤比呂美 「家族・越境・ニホン語」など
10月20日	金1	松下	随筆・エッセイ: 合評 映画評・評論: 講義 ショートストーリー: 講義(1)	詩・広告	提出物合評	映画評: 『耳をすませば』 「さまよい」「For Yourself」、「さみしきへのレクイエム」
10月24日	火2	江頭	詩・広告: 合評 俳句: 講義、句会の準備	映画評・評論	提出物合評	『俳句を遊べ!』佐藤文香(小学館) 『近現代詩歌』池澤夏樹・徳村弘・小澤實
10月27日	金1	松下	映画評・評論: 合評 ショートストーリー: 講義(2) 人物描写文(2): 課題の説明 情景描写文: ワークショップ・合評	俳句	提出物合評	サンデーマーケットの写真? 「夢十夜」「檸檬」など 必要に応じて、東野圭吾、村上春樹、阿刀田高、星新一、モーパッサン、モームなどの作品も
10月31日	火2	江頭	俳句: 句会・合評	人物描写文(2)	提出物合評	
11月7日	火2	江頭	私の好きな表現(発表: 一人10分以内) 短詩型文学作品の学習前後の比較=ことば のセンスは上がったか	ショートストーリー ポートフォリオ(*教室に持参)	発表	
11月10日	金1	松下	ショートストーリー: 合評 人物描写文(2): 合評=描写力は上がったか ポートフォリオ返却、作品集配付、まとめ		提出物合評	

提出物はMS-Wordのファイルまたは手書き。サイズはいずれもA4版とする。手書きの漢字に自信のない人は、手書きを練習するとよい。手書きの場合は、罫線(けいせん)の入った用紙を使用すること。提出物の提出期限は基本的に講義の次の授業。その次の授業で合評を行う。